

(様式3)

農業研究成果情報

No. 737 (平成28年5月) 分類コード 01-11 熊本県農林水産部

春播きトウモロコシ「TX1235」「KD671」「P2088」「TX1162」の熊本県における品種特性

「P2088」および「TX1162」は、多収性および耐病性に優れ、熊本県における春播きトウモロコシ品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室 (担当者: 中村寿男)

研究のねらい

本県における飼料用トウモロコシについて、新たな優良品種の早急な普及を図る目的で、数年以内に市販開始予定の新品種を中心に収量性やその他の諸特性について調査し、本県の奨励品種である「34B39」を比較品種として、これと同等以上の能力を有する品種を選定する。

研究の成果

1. 「TX1235」「KD671」「P2088」および「TX1162」の播種から収穫適期までの日数は、105～111日で、4月上旬に播種した場合、7月下旬から8月上旬に収穫できる(表1)。
2. 「TX1235」「KD671」「P2088」および「TX1162」は、比較品種と同程度の耐倒伏性が期待できる(表2)。
3. 「TX1235」「KD671」「P2088」および「TX1162」の病虫害への抵抗性は、比較品種と同程度以上である(表2)。
4. 「P2088」および「TX1162」は、比較品種と同等の乾物収量が期待でき、本県における飼料用トウモロコシ品種として有望である(図1)。

※比較品種: 過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

普及上の留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。

表1 生育特性に関する調査結果

品種名	相対熟度	播種から収穫適期までの日数	初期生育	稈長	着雌穂高	着雌穂高／稈長
		日	極不良1～極良9	cm	cm	%
TX1235	105	105.3	6.8	250.9	119.8	47.7
KD671	117	109.3	7.2	280.5	142.5	50.8
P2088	118	108.3	6.7	284.3	130.7	46.0
TX1162	120	111.0	6.0	268.9	131.0	48.7
34B39(比較品種)	115	108.2	7.0	289.7	135.3	46.7

- 1) 播種期は、平成25年4月3日、平成26年4月14日および平成27年3月31日。
- 2) 数値は調査年の平均
- 3) 1区は12㎡とし3反復で実施した。
- 4) 施肥量は、N:1.5kg/a、P2O5:1.5kg/a、K2O:1.5kg/a。
- 5) 収量調査は、絹糸抽出期から38日目を基準とした。

表2 倒伏性、病害抵抗性に関する調査結果

品種名	倒伏	折損	虫害	ごま葉枯病	紋枯病罹病率
	%	%	%	無1～甚9	%
TX1235	0.0	0.1	2.6	1.0	12.2
KD671	0.0	0.3	4.0	1.0	15.7
P2088	0.0	1.3	1.7	1.0	14.5
TX1162	0.0	1.0	0.6	1.0	16.1
34B39(比較品種)	0.0	0.4	5.8	1.2	17.3

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 虫害はイネヨトウによる倒伏
- 3) 試験ほ場は、連作により紋枯病が発生している。

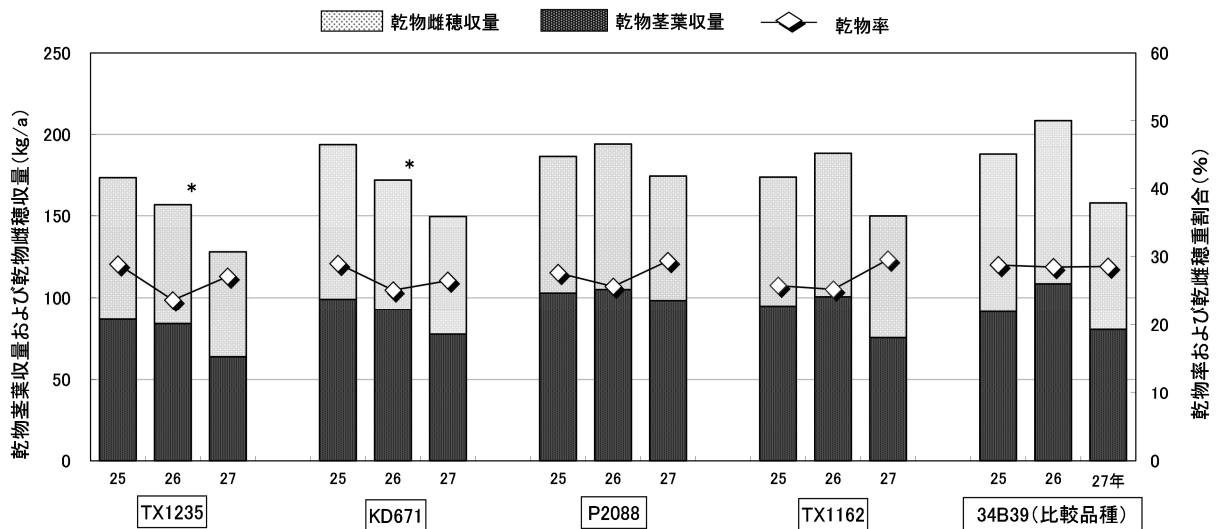


図1 品種ごとの3カ年の乾物茎葉収量・乾物雌穂収量・乾物率及び乾物雌穂割合

* は総収量において、同年の34B39との比較における有意差の有りを示す (t検定 * : p<0.05)